

社協職連協にゅ〜す



発行：茨城県社会福祉協議会職員連絡協議会
令和5年1月1日 発行



第44号

令和4年度 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会 専門研修
～ 目指せ！オンライン会議ファシリートの達人編 ～

令和4年11月16日（水）13：00～16：00
Zoomによるオンライン開催（事務局・ミーティングルーム）

茨城県社会福祉協議会、茨城社会福祉協議会職員連絡協議会との共催で実施されました。オンライン会議の開催が増えており、会議主催者として、効果的・効率的に成果あるオンライン会議になりました。9社協16名参加。

オンライン会議ファシリテーターとして活動している青木将幸氏が講師であったので、具体的な方法や講師のアイデアなど詳細に教えていただき、今まで使っていなかったZoomの機能を知ることができました。講義の過程で先生の作成したツールを使っての実践形式であり、ツールを参考に茨城県社協オリジナルでつくることも勧めていただきました。

オンライン会議でも講師と参加者の交流型の研修となり、受講者の疑問を解決する形式であったため、受講者も質問を通じて理解が進み、納得した感じでした。

研修終了後、飯田会長からも良い内容であったとの声をいただき、別の機会に引き続きお願いして、多くの職員に聞いてほしい内容でした。

今回の参加者がオンライン会議主催者として実施する場合、今回の研修で学んだことを活かしてよりよいオンライン会議が実施できるものと確信した良い研修でした。

研修開始前にZoomの設定トラブルがあって、急遽ミーティングIDを差し替えて実施しましたが、部内職員の連携により遅滞なく研修を実施することができました。





職連協那珂支部 研修・会員交流事業 災害ボランティア研修



第1部

- ・日 時 令和4年度11月18日(金)
- ・場 所 ひたちなか市総合福祉センター 大会議室 14:00～
- ・内 容 「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム」について茨城県災害ボランティアの登録制度や、災害ボランティアセンター運営支援システムの目的や機能、役割について学ぶ。今回は茨城県社協と㈱サイボウズ社が開発した「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム」（通称アイボス）を学ぶことによって、あらたな災害ボランティアセンター運営支援システムを学ぶとともに災害支援に必要とされている平常時からの顔の見える関係づくりを行う。
- ・講 師 稲葉 隆之 氏（茨城県社会福祉協議会 福祉のまちづくり推進部）
- ・所 感 クラウドサービスキントーンを用いて、情報をデータ化し各自スマホやタブレットPC等の端末にて災害現場の現状やニーズなどの、情報がどこにいてもその場で確認や更新ができて現代に合った画期的なシステムに感じました。また、ボランティア受付もスマホなどの端末で行えるので時間や手間の短縮になると感じました。



第2部

- ・会員交流会、情報交換会では台風19号の被害により那珂支部内も各々の社協が災害ボランティアセンターを運営し、被災者支援にあたりました。
- ・今回経験し活動した被災者支援の情報を共有するとともに「災害ボランティアセンター」運営者に求められる資質の中でも重要なコミュニケーションを活用して顔の見える関係づくりとして会員交流会、情報交換会を行いました。

